のアルバム

▼7月6日　市役所

将来ある園児のために

滋賀県内を中心に活動している職業に就いている女性による女性と女児のための国際的ボランティア組織「国際ソロプチミスト淡海（前田晃子会長）」より市内公立保育園、こども園および幼稚園に児童図書215冊（30万円相当）を寄贈していただきました。

各園では、園児と保護者が本に親しみ、幼児の豊かな感性が育まれるよう保育用および貸し出し用の図書として活用させていただきます。

目指せ！金メダル

▼7月10日　市役所

7月25日からアメリカのロサンゼルスで開催される4年に一度のスペシャルオリンピック夏季世界大会のバドミントン競技に出場することが決まった県立愛知高等養護学校3年生の南高太郎さん（久野部）が、市役所を訪れ、市長らの激励を受けました。

「日本代表としてメダルを取れるよう一生懸命頑張ります。メダルを持って、また、報告に市役所にきます。」と力強く抱負を語ってくれました。

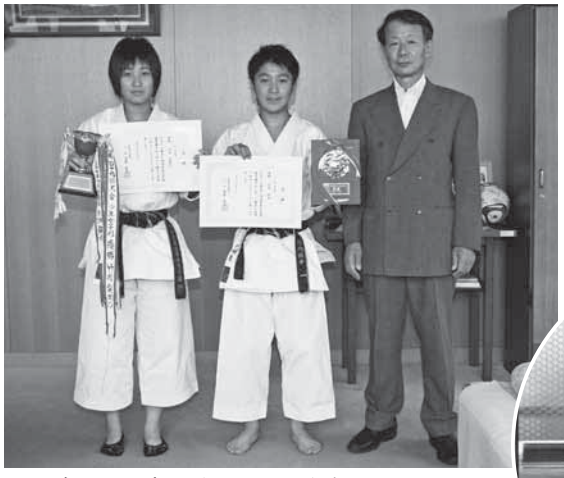
右から3人目が南さん

▼7月14日　市役所

姉弟ともベストで頂点へ

全国中学生空手道選手権大会に竹内誠竜さん、近畿少年少女空手道選手権大会に竹内愛里沙さんの姉弟（上屋）がそれぞれ出場されることになり、その報告と大会への意気込みを市長に語りました。

愛里沙さんは、「昨年も出場しているので、その経験を活かしたい」誠竜さんは、「毎日の練習の成果を発揮し優勝を目指す」と誓いました。



左から愛里沙さん、誠竜さん

歴史の小窓
ー学芸員のメッセージー

131

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

大岩山（おおいわやま）の水晶

野洲市の銅鐸博物館西側の小篠原字大岩山からは、明治期と昭和期の２回に分けて、合計24口の銅鐸が出土しています。明治14(1881)年に銅鐸14口が発見され、昭和37(1962)年の銅鐸10口は、新幹線の基礎工事に伴う土砂採取の際に発見されています。

大岩山周辺は、花崗岩が風化した土壌で造成工事用の土砂に適していました。花崗岩は、石英（せきえい）、長石（ちょうせき）、雲母（うんも）などから構成される深成岩（マグマが地下深くでゆっくり冷却された岩）です。野洲の花崗岩体は、白亜紀後期（約8,000万年前）の火山活動によって形成されたもので、北は竜王町鏡、南は湖南市岩根までの南北約10.5km、東西約８kmの範囲で見ることができます。銅鐸博物館のある辻町はその北西端に位置します。

野洲花崗岩体の中に含まれる水晶が、最も多く見られるのは野洲市辻町および湖南市十二坊（じゅうにぼう）周辺です。水晶は、石英が結晶したもので成長すると無色透明な６角柱の形状となります。その硬さは、モースの硬度計では７にあたり、鉱物の中では比較的硬い部類に属します。色合いは、鉄分が入ると紫水晶となります。大岩山周辺から出土した水晶は、無色透明なものから黒水晶や煙水晶（けむり）と呼ばれるものが多く見られ、黒水晶についてはアルミニウムの成分が関わっていると考えられます。

50余年前、大岩山の土砂採取場付近では、地元の人々が花崗岩の土砂に含まれていた水晶を拾い上げ、保管されてきました。大岩山周辺で採集されたこれらの水晶を、ロビー展示「大岩山で水晶がとれた！」において、８月30日㈰まで展示いたしますのでご覧いただければ幸いです。

（学芸員　徳網克己）

辻町採集の水晶

まち

観光大使に任命

吉本興業のお笑い芸人で「滋賀県に住みます芸人」として活躍しているファミリーレストランを野洲市観光大使として任命し、授与式を行いました。

ライブを通じて野洲市の魅力や観光情報などのＰＲしていただきます。

ファミリーレストランは、毎月文化ホールでライブを開催しこの日で36回目となり３周年記念ライブは満員御礼でした。

▼６月20日　文化ホール小劇場

100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた鍛治小菊さん（小南）を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正４年７月８日生まれの小菊さん、学生時代には放課後にオルガンを弾いて楽しんでいたそうです。三上地先で行われている「お田植まつり」のお田植歌を暗記しておられ元気いっぱいです。

▼７月９日　小南